

第16回 兵庫ダービー

優勝賞金600万円(ディープリランテ賞)

以前は兵庫デビュー馬の出走が大半だったが、最近は他地区デビュー馬の出走も多い。今年は生え抜きか移籍馬か。兵庫3歳三冠の最終戦は熱い。

注目の競走馬



インディウム

父 / バイロ

母 / センバイセブン

母父 / フォーティナイター

馬主 / 窪田 康志

調教師 / 田中 範雄

生産者 / バカバカファーム

注目点 / 昨年

11月のデビューから連勝が続き、菊水賞では単勝1.0倍の人気に応じて勝利。兵庫チャンピオンシップには当初の予定を変更して参戦するも5着に敗れ、連勝記録はストップしたが、この経験が兵庫ダービーの舞台上で生きてくることだろう。



オトコギ

父 / サウスヴィグラス

母 / プリモスベシヤル

母父 / フォーティナイター

馬主 / 和田 博美

調教師 / 高馬 元祐

生産者 / グランド牧場

注目点 / 昨年5

月に北海道でデビュー戦を制し、その後は金沢で1勝を追加して兵庫に移籍。今年は2月以降

が好走続きで、菊水賞では3着だったが逃げ粘ったレース内容は上々。サウスヴィグラス産駒だけに距離延長は微妙だが、再度の先手主張なら侮れない。



コパノジョージ

父 / クロフネ

母 / ウェディングシルク

母父 / サンデーサイレンス

馬主 / 中村 富美子

調教師 / 橋本 忠明

生産者 / ヤナガワ牧場

注目点 / JRAで

は大敗続きだったが、兵庫移籍後に素質が開花。菊水賞では流れ込む形で2着だったが、兵

庫チャンピオンシップでは好位追走から粘り込んで4着に善戦。そのしぶとい脚には、引き続き警戒すべきかもしれない。

コース紹介

園田競馬場

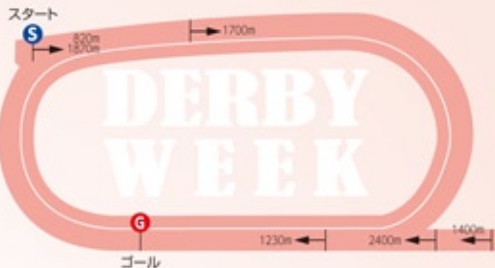
1870m

右回りコース

1周1051m

幅20~24m

ダービー出走可能頭数12頭



コース 日本の競馬場としては、1周の距離がもっとも短い小回りコース。3コーナー手前には上って下りる高低差1mの起伏がある。1コーナーと3コーナーのカーブは、徐々に角度がきつくなる「スパイラルカーブ」となっており、急激に減速しなくても曲がりやすいという形状。それを利用して、向正面の中間点あたりから一気の追い上げを見せる差し、追込み馬も多い。

アクセス 阪急神戸線の園田駅(普通電車のみ停車)北口から無料バスが頻発。阪神尼崎駅北口、JR尼崎駅南口からも無料バスが用意されているが、阪神尼崎駅を9時50分、10時50分、11時50分(JR尼崎駅発はその15分後)の3本だけとなっている。大阪伊丹空港からはタクシーを利用して、およそ20分、2500円程度の距離となっている。

単勝	○	枠番連複	○	馬番連複	○	ワイド	○	3連単	○
複勝	○	枠番連単	×	馬番連単	○	3連複	○	重勝式	○



「ダービージョッキーに聞く」

ダービーの思い出

兵庫ダービー

木村 健騎手

2011年6月9日の兵庫ダービーは、史上初の無敗のダービー馬が誕生するまで注目を集めた。兵庫県の競馬で「ダービー」と冠するレースができたのはサラブレッドが導入された1999年から。それでも世代の頂点を決める「重み」は確かにあった。

晴れて無敗のダービー馬となったオオエライジン。「緊張はしてなかったです。球節炎で3か月ぶりでしたし、兵庫チャンピオンシップで2着だったホクセツサンデーのほうが強いと思っていましたから。だから喜びよりも勝ってビックリでしたよ」と、振り返る鞍上の木村騎手。しかし本人は忘れていたようだが、当時はレース直後、目を真っ赤に腫らしていたのだ。それだけ喜びのある称号がダービージョッキー。

今年は無敗で菊水賞を制したインディウムが注目を集める。兵庫チャンピオンシップでは5着に敗れたが、地元馬だけの兵庫ダービーは譲れない。鞍上は引き続き木村騎手。無敗のダービー馬にはなれなかったが、オオエライジンを超越する権利は残されている。